

平成 28 年度 事業報告書

事業年度 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日



学校法人 聖マリア学院

St. Mary's Educational Foundation

Fides 【 信仰 】

Spes 【 希望 】

Caritas 【 愛 】

～ 連綿と受け継がれる「カトリックの愛の精神」～

聖マリア学院の歴史の源泉は、大正4年、井手内科医院の開設にはじまります。その院長、井手用蔵は熱心なカトリック信者で、貧しく医療に恵まれない人々を長年に亘り支援してきました。

学校法人聖マリア学院の創設者である、初代理事長の井手一郎は、父・用蔵の志を継ぎ、後の本法人設立母体となる、医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院（現・社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院）を開設し、その基本方針を、カトリックの愛の精神に基づく医療と教育の普及としました。

本学院の教育理念が、カトリックの愛の精神に基づく教育研究の実践である所以であり、その精神は、現在に至るまで連綿として受け継がれています。

信 望 愛



目次 ~Contents~

I. 法人の概要

1. 法人の概要
2. 建学の精神
3. 教育理念
4. 沿革
5. 役員・評議員
6. 設置する学校・学部等
7. 入学定員及び学生数
8. 教職員
9. 聖マリアグループ

II. 事業の概要

1. 基本方針
2. 平成28年度に実施した主な事業内容
3. 平成28年度入試結果
4. 卒業生の主な進路状況
5. 国家試験の合格状況
6. 学年暦

III. 財務の概要

1. 学校法人会計の概要及び企業会計との違い
2. 「資金収支計算書」の概要
3. 「事業活動収支計算書」の概要
4. 「貸借対照表」の概要
5. 有価証券・特定金銭信託の時価情報
6. 主な施設設備の整備状況
7. 主な事業計画履行状況
8. 大科目の経過年度比較表
9. 主な財務比率の経過年度比較表
10. 平成28年度決算総評

I. 法人の概要

1. 法人の概要

法人名 学校法人聖マリア学院
(St. Mary's Educational Foundation)
代表者 理事長 井手 三郎
所在地 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422番地
電話番号 0942(35)7271
設立年月日 昭和57(1982)年11月5日

2. 建学の精神

カトリックの愛の精神

主イエス キリストの限りなき愛のもとに、常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々と共に歩むことです

3. 教育理念

聖マリア学院大学は「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

4. 沿革

- 昭和 27 (1952) 年 医療法人雪ノ聖母会 設立
 (後の学校法人聖マリア学院設立における母体となる法人)
 (平成 21 年より「社会医療法人雪の聖母会」に法人格変更)
- 昭和 28 (1953) 年 医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院 開設
- 昭和 48 (1973) 年 医療法人雪ノ聖母会
 聖マリア高等看護学院第 2 科看護専門課程 設置
 (後に聖マリア看護専門学校へと改組)
- 昭和 51 (1976) 年 医療法人雪ノ聖母会
 聖マリア高等看護学院第 1 科看護専門課程 設置
 (後に聖マリア看護専門学校へと改組)
 聖マリア高等看護学院を聖マリア看護専門学校と改称
- 昭和 57 (1982) 年 学校法人聖マリア学院 設立
 (聖マリア看護専門学校の設置者を医療法人雪ノ聖母会から移譲)
- 昭和 59 (1984) 年 聖マリア看護専門学校に保健学科、助産学科 設置
 (後に聖マリア学院短期大学へと改組)
- 昭和 61 (1986) 年 聖マリア学院短期大学 看護学科 開学
 (後に聖マリア学院大学へと改組)
- 平成元 (1989) 年 聖マリア学院短期大学に専攻科（地域看護学専攻・助産学専攻） 設置
- 平成 2 (1990) 年 同上地域看護学専攻に国際看護コース 開設
- 平成 7 (1995) 年 聖マリア学院医療福祉専門学校 介護福祉学科 開校
- 平成 18 (2006) 年 聖マリア学院大学 看護学部 開学
- 平成 21 (2009) 年 聖マリア学院短期大学（看護学科・専攻科）閉学
 聖マリア学院医療福祉専門学校 介護福祉学科 閉校
- 平成 22 (2010) 年 聖マリア学院大学大学院看護学研究科 開設
- 平成 25 (2013) 年 聖マリア学院大学に専攻科（助産学専攻） 設置

5. 役員・評議員

平成29年3月31日現在

○理事／定員：6～8名 現員：7名 任期：3年

区分	氏名	選任条項
理事長	井手 三郎（イデ サブロウ）	理事の互選
理事（常勤）	井手 三郎（イデ サブロウ）	学長
理事（常勤）	井手 信（イデ ノブ）	評議員
理事（非常勤）	黒岩 中（クロイワ アタル）	評議員
理事（非常勤）	ドーボン・マーゲリー	評議員
理事（非常勤）	榎原 利則（ナラハラ トシノリ）	学識経験者
理事（非常勤）	牧山 強美（マキヤマ ツヨミ）	学識経験者
理事（非常勤）	青木 清（アオキ キヨシ）	学識経験者

○監事／定員：2名又は3名 現員：2名 任期：3年

区分	氏名	選任条項
監事（非常勤）	山田 隆 (ヤマダ タカシ)	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任
監事（非常勤）	永松 雄一郎 (ナガマツ ユウイチロウ)	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任

○評議員／定員13～17名 現員：15名 任期：3年

氏名	選任条項
井手 三郎（イデ サブロウ）	法人職員
松尾 ミヨ子（マツオ ミヨコ）	法人職員
安藤 満代（アンドウ ミチヨ）	法人職員
井手 悠一郎（イデ ユワイチロウ）	法人職員
中ノ森 美知子（ナカノモリ ミチコ）	卒業生
日高 艶子（ヒダカ ツヤコ）	卒業生
井手 健一郎（イデ ケンイチロウ）	実習施設職員
橋口 ちどり（ハシグチ チドリ）	実習施設職員
中島 成子（ナカシマ シゲコ）	実習施設職員
島 弘志（シマ ヒロジ）	実習施設職員
井手 信（イデ ノブ）	学識経験者
上野 正二（ウエノ ショウジ）	学識経験者
黒岩 中（クロイワ アタル）	学識経験者
廣田 良夫（ヒロタ ヨシオ）	学識経験者
ドーボン・マーゲリー・テ	学識経験者

6. 設置する学校・学部等

聖マリア学院大学 看護学部／専攻科 助産学専攻
(St. Mary's College)

所在地：福岡県久留米市津福本町422番地

聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
(The Graduate School of St. Mary's College)
所在地：福岡県久留米市津福本町422番地

7. 入学定員及び学生数

平成28年5月1日現在

○聖マリア学院大学

学部・学科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
看護学部 (4年課程)	1	100	***	110	112
	2	(100)	***	***	120
	3	(100)	***	***	111
	4	(100)	***	***	114

合計	収容定員	400	在籍者数	457
----	------	-----	------	-----

○聖マリア学院大学専攻科

学部・学科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
助産学専攻 (1年課程)	1	15	***	13	13

合計	収容定員	15	在籍者数	13
----	------	----	------	----

○聖マリア学院大学大学院

研究科	年次	入学定員 (収容定員)	編入定員 (収容定員)	入学者数	在籍者数
看護学研究科 (2年課程)	1	12	***	5	9
	2	(12)	***	***	19

合計	収容定員	24	在籍者数	28
----	------	----	------	----

在籍者数合計

498

8. 教職員

○教員

	聖マリア学院大学 看護学部	聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
教 授	14	14（併任）
准教授	6	5（併任）
講 師	9	1（併任）
助 教	3	0
助 手	8	0
合 計	40	20（併任）

○職員

	法人本部 事務局	聖マリア学院大学 看護学部
職 員	2	15
臨時職員	0	2
合 計	2	17

※上記の他、法人本部事務局長が聖マリア学院大学より兼務

9. 聖マリアグループ

○社会医療法人雪の聖母会

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター

昭和28年の開設以来、「カトリックの愛の精神」に基づいた保健医療活動を行っており、聖マリアグループの中核を成す法人です。救命救急センターを中心として、地域に根ざした医療を目指す総合病院として、41診療科、1,097床の聖マリア病院を運営しております。

平成26年10月には、回復期リハビリ病棟・療養型病棟、人間ドッグ・内視鏡センター、透析センターの3部門（5診療科）から構成される聖マリアヘルスケアセンター（198床）を開院しました。

○公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

平成21年4月に、財団法人九州産業衛生協会と福岡県対がん協会が合併し発足しました。

従来、九州産業衛生協会が行ってきた、労働・環境衛生や人間ドックなどに加え、がん検診と予防に関する啓発活動などを行い、人々の健康づくりと福祉の向上への貢献を目指しています。

○社会福祉法人福成会 ※平成29年4月より「社会福祉法人平和の聖母」に改称

作業能力を持ちながらも、雇用されることの困難な障害者の方の社会活動への積極性をお手伝いする障害者支援施設「ウェルフェアマリア」、「まちづくりワークショップマリア」や高齢者向けの施設「ケアハウスメゾンマリア」「デイサービスセンターメゾンマリア」などの運営を行っています。

平成29年1月には、18名収容の認知症高齢者グループホーム「グループホームメゾンマリア」を設置し、専門スタッフによるケアを実施しております。

○株式会社サンループ

聖マリアグループにて蓄積した医療現場での経験と実績を基に、人材派遣・業務請負・紹介予定派遣・人材紹介事業を行っています。

また、医療現場が直面しているさまざまな課題解決のための医療コンサルティングも実施しています。

○特定非営利活動法人 / S A P H (アイサップ)

聖マリア病院の長年にわたる国際協力活動から生まれました。

それまで、聖マリア病院で実施してきた国際協力活動の手法を活かして新たな活動を展開するNPO法人です。

ラオス（東南アジア）やマラウィ（アフリカ）を中心に、地域保健活動、災害救急医療支援、保健人材育成支援などを行っています。

○学校法人ありあけ国際学園

保健・医療・福祉分野の経営を担う人材を育成することを目的とした「保健医療経営大学」を運営しております。幅広く活躍できる能力が修得できる充実したカリキュラムや、10万m²（3万坪）という広大な地にゆとりある空間がちりばめられたキャンパスも魅力のひとつです。

○雪の聖母会健康保険組合

聖マリアグループ各法人（一部を除く）に勤務する職員同士の相互扶助を目的に、平成20年12月に発足しました。

病気やけがをしたときの生活保障となる「保険給付」、日頃の健康増進を目的とした「保健事業」を展開し、職員間の生活上の不安を少しでもなくしていくよう努めています。

II. 事業の概要

1. 基本方針

大学をはじめとする高等教育機関を取り巻く状況は、主として学齢人口の減少に伴う競争的環境下に置かれ、各機関は教育・研究組織としての経営方針・戦略を明確化し、内外に示していくことが求められています。

教育・研究と、経営・管理の両軸が相互に有機的に機能し、中長期的視野に立ったより実践的な目標の明示と、それを実現する組織的行動、また、効果的な点検・評価体制の確立が必須となっているものです。

このことは、今後、ますます多様化することが予想される学生のニーズに的確に対応するため、各大学等に期待される役割・機能を充分に踏まえた教育や研究の推進を図るとともに、社会との連携を推進しながら、個々の機関が、その個性・特色を一層明確にしていかなければならないことを意味しています。

本学院におきましては、設立理念 「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究の実践を堅持、継承し、“student focused education（学生に焦点を当てた教育の実践）”、さらには “enrollment management（入学前～在学中～卒業後の一貫した総合学生支援策等）” を主眼として、中長期事業計画（理事会・評議員会決議）を踏まえた各種事業に取り組んで参りました。

2. 平成28年度に実施した主な事業内容

平成28年4月1日に開学10周年を迎えました。

この10年間で多くの卒業生を輩出し、日本国内のみならず、海外でも活躍の場を広げているとの報を受けております。また、10年間の歴史は教職員をはじめ関係者全員による努力の賜物もあり、永代にわたって受け継ぐためにも、今後もたゆまぬ努力を続けるものであります。

4月には新看護学部長が就任、11月には念願であった新図書館が着工、3月には米国の姉妹校との提携30周年を迎えるなど、これからの中10年に向けて新たな取り組みを始めております。

また、4月に発生した熊本地震への支援をはじめ、8月には日本と韓国のカトリック大学生が集まりボランティア活動への意識向上を目的とした「フランシスコ・ボランティアキャンプ」へ参加するなど、カトリックの愛の精神の実践を学内外で行っております。

以下に、「経営・管理」、「教育・研究」、「国際交流」及び「地域貢献」を枠組みとして主な事業項目の概要を示します。

①開学10周年を迎えて

平成18年4月に前身の短期大学から4年制大学へ移行し、この4月1日に大学開学10周年を迎えました。

開学記念日となる12月8日には開学10周年記念ミサを挙行し、これまで多くの皆様にご支援いただいたことを感謝するひとときとなりました。

②大学アドミニストレーターの育成

昨年度開始された大学改革推進の一環として、将来的に大学運営のスペシャリストの設置が不可欠であると考え、本年度から本格的な大学アドミニストレーターの人材育成を開始しました。

本年度はスタートアップとして、教職員代表1名を大学院（大学アドミニスト

レーション研究科通信教育課程）に派遣いたしました。

今後も様々な形で大学アドミニストレーターの育成を行ってまいります。

③被災地支援（ボランティア派遣等）

昨年度に引き続き、本年度も東日本大震災の被災地へボランティアを派遣しました。本年度は学生7名を宮城県登米市へ派遣し、漁業・農業支援、仮設住宅の居住者の支援などを行いました。

さらに本年度は4月に発生した熊本地震の被災地支援として、地震発生直後から約2週間、学生有志による学内及び西鉄久留米駅周辺での募金活動が行われました。

「カリタス福岡・熊本支援センター（くまセン）」には学生21名が訪れ、主に熊本県西原村と益城町でのボランティア活動に参加しました。また、現地医療機関からの要請で、食事介助や足浴補助等を含めた傾聴ボランティアとして6月より、月に1回、10名ほどの教職員・学生等を派遣しております。



熊本県益城町にて（5月）



熊本県西原村にて（8月）

④まちなか保健室・ほっとステーションマリア

地域貢献の一環として久留米市内商店街の「一番街プラザ」に開設された、無料健康相談コーナー「まちなか保健室・ほっとステーションマリア」は、平成21年2月の開設から8年を迎えました。

本年度の来館者数は延べ3,772名、相談者数は延べ425名となっております。

また、本年度からは一番街プラザを他団体と共同利用することとなり、本学の健康相談事業は週3日に固定されましたが、曜日固定化により安定した輪番体制が構築できることとなりましたため、健康相談事業のさらなる質の向上ならびに来訪者への定着化を図る所存です。



ほっとステーションマリア

⑤国際交流

本年度は学長方針に基づき、例年以上に国際交流活動が活発な1年となりました。

8月には、毎年実施しているフィールドスタディーで初めて、姉妹校であるCanossa College(フィリピン・サンパブロシティ)の教員による指導を受けての実習を行うことができました。

11月には、独立行政法人国際協力機構(JICA)の2016年度“青年研修事業”受託業務「母子保健実施管理コース」に2年連続で採択されたことを受け、研修生を招いて研修を実施しました。

さらに本年度は、前身の短期大学時代からの姉妹校であるMount Saint-Mary's University(ロサンゼルス)及びSt. Francis Healthcare System of Hawaii(ハワイ)の両施設との交流30周年に当たり、3月に学長が学生とともに両施設を表敬訪問し、節目の年を祝いました。

多岐にわたる国際交流事業は、今後も本学における諸活動の核として継続してまいります。

⑥フランシスコ・ボランティアキャンプ

ボランティア活動を通じてカトリック教育の理念への理解を深め、奉仕の精神を学び実践すること及び日韓カトリック系大学交流の活性化を目的とし、8月に韓国にて第1回日韓カトリック系大学間学生交流事業「フランシスコ・ボランティアキャンプ」が開催されました。

日本及び韓国のカトリック系大学から総勢134名、うち本学からは5名の学生が参加しました。参加者は5つの班に分かれ、韓国内5か所の地域でボランティア活動を5日間行った後、参加者全員が一堂に会し、ボランティア活動を通じての学びを発表し、分かち合いました。

参加学生は、農業支援、障害者交流、ハンセン病患者交流、ホームレス支援、乳幼児ケアなどのボランティア活動と共に生活することを通して、言語や文化の違いはありながらも同じ目標を持って協力しあうことで、大きく成長できました。



フランシスコ・ボランティアキャンプ参加者（8月）

⑦公開講座の実施

例年開催している公開講座も9年目を迎え、本年度も「よりよく生きる」をテーマに4回シリーズで開催しました。

本年度は、4月に発生した熊本地震をはじめとした時事的な内容をテーマと

し、初めて本学学生が講師として参加してBLS (Basic Life Support／一次救命措置)についてレクチャーしたほか、熊本地震の被災地で傾聴ボランティアを受け入れていただいている医療機関から講師をお招きし、地震発生時及びその後の状況について具体的にお話しいただきました。

今後は、本学教職員が持つ知識をお伝えするだけでなく、様々な方々が経験されたことや実践例などを紹介できる公開講座を行いたく考えております。

平成28年度公開講座実施内容

第1回／「人の命をつなぐBLS」

講師：本学BLSサークル学生

第2回／「熊本大地震 一発生から現在そして復興に向けてー」

講師：熊本託麻台リハビリテーション病院

理事長・病院長 平田好文

座長：聖マリア学院大学教授／地域貢献センター長 日高艶子

第3回／「腎臓病のセルフマネジメント」

講師：聖マリア学院大学 教授 崎田マユミ

第4回／「子育てに違いはあるの？～今時のママ・パパと

祖父母のコミュニケーション～」

講師：聖マリア学院大学 教授 松原まなみ



第3回公開講座の様子

⑧新図書館棟着工

従前より課題となっていた現図書館の充実化のため、新たに図書館棟を建築する運びとなり、平成29年秋の竣工へ向け、11月に着工いたしました。

校地北側地区の一体的利用を目指した当該区域の拡張及び整備事業の一環として、昨年度取得した校地へ建設いたします。

書架や閲覧室といった伝統的な図書館機能に加え、ラーニング・コモンズ（学修支援機能）などの、オープンスペースも併設した設計となっており、教育環境の更なる充実を図ってまいります。



建築中の図書館棟

⑨外部資金の獲得状況

本学院では外部研究資金獲得を全学的に励行しています。本年度も前年度に引き続き、多数の科学研究費等外部研究費が採択されました。

■科学研究費補助金（文科）

採択 23件 ／ 助成金額 6,370,000円

(内、研究分担金 採択 12件／助成金額 780,000円)

■科学研究費補助金（厚労）

採択 1件 ／ 助成金額 600,000円

(内、研究分担金 採択 1件／助成金額 600,000円)

■日本医療研究開発機構（AMED） 委託研究開発費

採択 1件 ／ 助成金額 21,666,160円

■私立大学等経常費助成（国庫補助）

補助金額 110,923,000円

⑩外部資金の獲得状況

本学院では外部研究資金獲得を全学的に励行しています。本年度も前年度に引き続き、多数の科学研究費等外部研究費が採択されました。

■科学研究費補助金（文科）

採択 23件 ／ 助成金額 6,370,000円

(内、研究分担金 採択 12件／助成金額 780,000円)

■科学研究費補助金（厚労）

採択 1件 ／ 助成金額 600,000円

(内、研究分担金 採択 1件／助成金額 600,000円)

■日本医療研究開発機構（AMED） 委託研究開発費

採択 1件 ／ 助成金額 21,666,160円

■私立大学等経常費助成（国庫補助）

補助金額 110,923,000円

3. 平成29年度入試結果

平成28年9月～平成29年3月実施

○聖マリア学院大学

<看護学部看護学科>

区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦(系属校)	若干名	1	1	1	1
推薦(指定校)	35名	31	31	31	31
推薦(公募制:前期)		52	51	36	24
推薦(公募制:後期)	5名	36	36	15	12
社会人	若干名	2	2	2	1
学士・短期大学士	若干名	0	0	0	0
一般	49名	161	154	104	35
センター利用(前期)	10名	47	25	20	6
センター利用(後期)	若干名	3	3	1	1
合計	100名	333	303	210	111

<専攻科助産学専攻>

区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦	10名	10	10	6	6
一般(前期)	5名	6	6	4	3
一般(後期)		2	2	2	1
合計	15名	18	18	12	10

○聖マリア学院大学大学院

<看護学研究科>

区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般(秋期)	12名	0	0	0	0
社会人(秋期)		2	2	2	2
一般(春期)		0	0	0	0
社会人(春期)		3	3	3	3
合計	12名	5	5	5	5

4. 卒業生の主な進路状況

○聖マリア学院大学

(平成29年3月卒業生)

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	67	聖マリア病院、久留米大学病院、九州大学病院、福岡大学病院など
県外病院	28	東京大学医学部附属病院、大阪医科大学付属病院、三菱神戸病院など
医療機関外	0	
進学	7	聖マリア学院大学専攻科助産学専攻

○聖マリア学院大学専攻科助産学専攻

(平成29年3月修了生)

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	7	聖マリア病院、久留米大学病院
県外病院	6	筑波大学附属病院、姫路赤十字病院、国立国際医療研究センター病院など

○聖マリア学院大学大学院

(平成29年3月修了生)

区分	就職者数	主な進路先
県外病院	0	
医療機関外	0	

※上記は新卒者のみの数値である。

(社会人学生は除く)

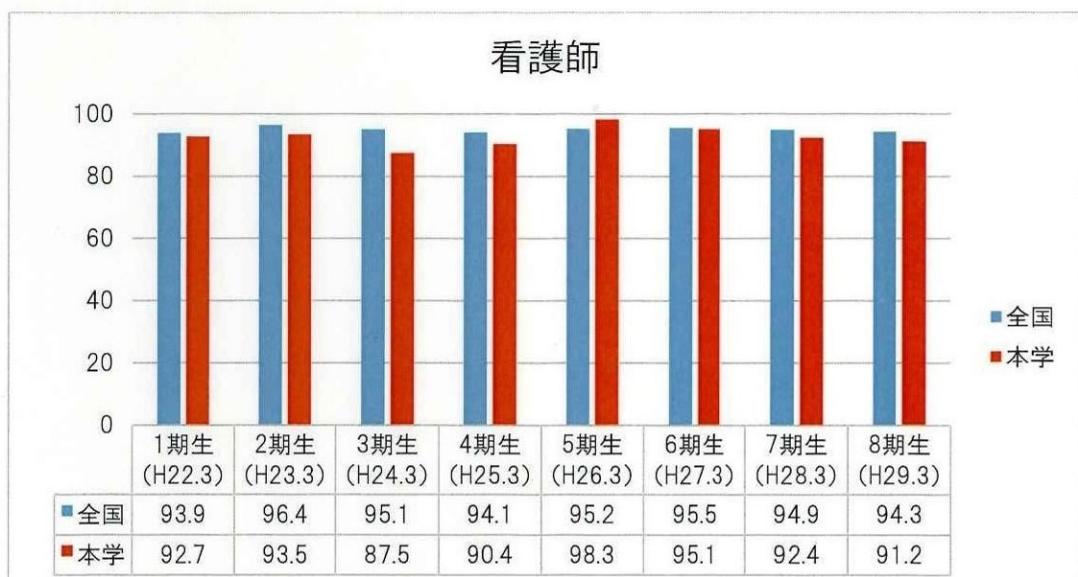
5. 国家試験の合格状況

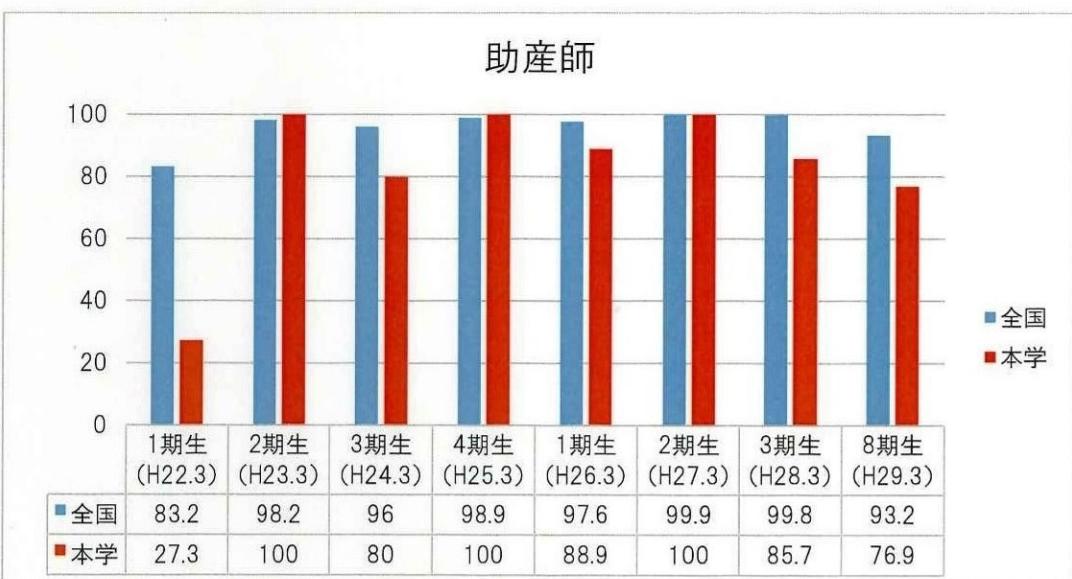
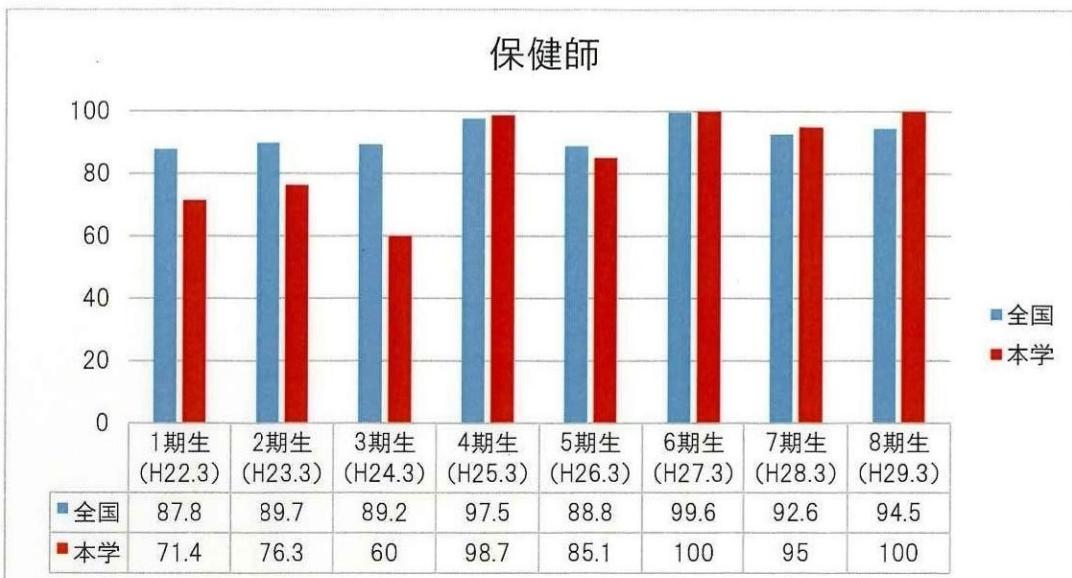
平成29年2月実施

	本学における結果(名) 合格者数 / 受験者数	合格率(%)	
		本学	全国
看護師	103 / 113	91.2	94.3
保健師	18 / 18	100.0	94.5
助産師	10 / 13	76.9	93.2

※上記は新卒者のみの数値である。

～合格率の推移～





※上記は新卒者のみの数値である。

※助産師は平成25年3月卒業者以前は看護学部、

平成26年3月修了者以降は専攻科の結果である。



6. 学年暦

4月 1日（金）	学年はじめ
4月 4日（月）	平成28年度入学式
4月 5日（火）～8日（金）	新年度オリエンテーション
4月 9日（土）	健康診断
4月 11日（月）	国家試験フェア（看護学部4年）
4月 15日（金）	前期開講
7月中旬	新入生歓迎行事
7月下旬	前期単位認定試験（看護学部3年）
8月 1日（月）	前期単位認定試験（看護学部1・2年）
9月 15日（木）	夏期休業開始
10月 1日（土）	夏期休業終了
10月 8日（土）	後期開講
11月 2日（水）	やすらぎのつどい（看護学部4年）
11月 12日（土）	召命のつどい（看護学部1年）
12月 8日（木）	聖マリア病院慰靈祭
12月 22日（木）	学院祭
12月 25日（日）	創立記念日（無原罪の聖マリアの祭日）
12月 26日（月）	第67回聖マリア医学会研究会
1月 10日（火）	合同クリスマス
1月下旬～2月上旬	冬期休業開始
2月上旬	冬期休業終了
3月 4日（土）	後期単位認定試験（看護学部2年）
3月 12日（日）～19日（日）	後期単位認定試験（看護学部1年）
	平成28年度学位授与式
	米国研修旅行

III. 財務の概要

1. 学校法人会計の概要及び企業会計との違い

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準（文部科学省令）により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

企業の財政構造が、「モノ」を生産・販売することにより投資した資本を回収するとともに利潤を獲得し、獲得した利潤により新たな設備投資や既存の設備の改修が可能となる「生産経済体」であるのに対し、学校法人は、学生が入学することで学納金により収入を確保できる一方、支出が増加した場合、それに見合った収入の増加を図ることが難しい「消費経済体」です。

企業会計の目的が営利目的の事業活動の成果と財政状態を利害関係者に開示するところにあるのに対し、学校法人会計は財政面から学校経営における教育研究活動の健全性を測定し、開示することを目的としています。

	学校法人会計	企業会計
事業の目的	教育研究活動	利潤獲得のための経済活動
財務諸表 (計算書類)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書 ・活動区分資金収支計算書 ・事業活動収支計算書 ・貸借対照表 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュフロー計算書 ・損益計算書 ・貸借対照表

以下に、各計算書の概要を記し、平成28年度の本法人の決算につきご報告します。

2. 「資金収支計算書」の概要

当該会計年度の諸活動に対する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

また、内訳表と併せ会計基準改正により新たに「活動区分資金収支計算書」を添付することになりましたが、これは企業会計でいえば「キャッシュ・フロー計算書」に相当するものになります。

主な収入（科目説明）

学生納付金収入（学生からの授業料・入学金等収入）	： 798, 912 千円
補助金収入（国等からの助成金）	： 113, 768 千円
前受金収入（翌年度に入学予定の学生からの入学金、授業料等）	： 136, 636 千円

収入の部合計 : 3, 025, 322 千円

主な支出（科目説明）

人件費支出（教職員に支払われる給与・賞与）	： 529, 788 千円
教育研究経費支出（学生の学習支援、課外活動費、教育研究活動費等）	： 179, 028 千円
管理経費支出（法人運営に係る費用、学生募集活動費用等）	： 68, 564 千円
施設関係支出（土地・建物・構築物を取得するための費用）	： 211, 059 千円
設備関係支出（教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書等を取得するための費用）	： 8, 680 千円
資産運用支出（将来を見据え資金を積立・運用するための支出等）	： 122, 100 千円

支出の部合計 : 3, 025, 322 千円

資金収支計算書

(単位：円)

資金収入の部		資金支出の部	
科 目	28 年度決算額	科 目	28 年度決算額
学生納付金収入	798, 911, 500	人件費支出	529, 788, 399
手数料収入	11, 900, 230	教育研究経費支出	179, 027, 874
寄付金収入	30, 200, 000	管理経費支出	68, 564, 098
補助金収入	113, 768, 000	施設関係支出	211, 059, 200
資産売却収入	200, 000, 000	設備関係支出	8, 679, 572
付随事業・収益事業収入	30, 366, 160	資産運用支出	122, 100, 000
受取利息・配当金収入	6, 437, 296	その他の支出	31, 608, 739
雑収入	35, 335, 701		
前受金収入	136, 636, 000	予備費	-----
その他の収入	245, 393, 563	資金支出調整勘定	△ 29, 202, 802
資金収入調整勘定	△ 171, 897, 162		
前年度繰越支払資金	1, 588, 270, 761	翌年度繰越支払資金	1, 903, 696, 969
収入合計	3, 025, 322, 049	支出合計	3, 025, 322, 049

3. 「事業活動収支計算書」の概要

当該会計年度の活動に対する事業活動収入と事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、固定資産の経過的な価値の減少（減価償却額）や将来的な負債を考慮した計算書で、学校法人の財政的な経営状況を表すものです。企業会計の「損益計算書（P/L）」に相当します。

主な収入（科目説明）

寄付金	(学校法人への寄付による収入・事業活動収入の部には現物による寄付も含まれる)	: 30,200 千円
付随事業収入	(学生寮に係る寮費納付金の収入や受託事業の収入)	: 30,366 千円
基本金組入額	(当該年度に取得した施設・設備等の額及び将来に向けて積み立てる額等)	: △42,217 千円
<u>事業活動収入の部合計</u> : 1,032,546 千円		

主な支出（科目説明）

減価償却費（既存の建物・土地・備品等の固定資産に係る償却費用）	: 100,054 千円
資産処分差額（保有資産の除却に係る期末簿価を計上）	: 763 千円

事業活動支出の部合計 : 884,301 千円

基本金組入前当年度収支差額
: 148,246 千円

当年度収支差額 : 106,028 千円

事業活動収支計算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科 目	28 年度決算額	科 目	28 年度決算額
教育活動収入	1,025,145,594	教育活動支出	883,537,317
教育活動外収入	6,437,296	教育活動外支出	0
特別収入	963,561	特別支出	763,346
		予備費	0
事業活動収入	1,032,546,451	事業活動支出	884,300,663
		基本金組入前当年度收支差額	148,245,788
		基本金組入額合計	△42,217,302
		当年度收支差額	106,028,486
		前年度繰越収支差額	△331,338,648
		翌年度繰越収支差額	△225,310,162

4. 「貸借対照表」の概要

当該会計年度末の財務状況（運用形態と調達源泉）を明らかにし、財政状態の健全性を表すものです。

企業会計でいえば「貸借対照表（B/S）」に相当します。

固定資産（校地、校舎等建物、及び備品、図書等）	:	4,393,936千円
流動資産（現金及び預貯金等）	:	1,925,163千円
固定負債（退職給与引当金）	:	188,853千円
流動負債（未払金、前受金等）	:	176,395千円
基本金の部合計（財政的な基盤を示す額、将来への資金）	:	6,179,161千円
繰越収支差額（資産から負債と基本金を差引いた額）	:	△225,310千円

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	4,393,936,087	4,350,887,421	43,048,666
流動資産	1,925,163,020	1,819,507,736	105,655,284
資産の部合計	6,319,099,107	6,170,395,157	148,703,950

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	188,853,296	182,750,674	6,102,622
流動負債	176,395,390	182,039,850	△5,644,460
負債の部合計	365,248,686	364,790,524	458,162

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	5,525,960,583	5,310,743,281	215,217,302
第2号基本金	480,000,000	660,000,000	△180,000,000
第3号基本金	101,200,000	101,200,000	0
第4号基本金	72,000,000	65,000,000	7,000,000
繰越収支差額	△ 225,310,162	△ 331,338,648	106,028,486
純資産の部合計	5,953,850,421	5,805,604,633	148,245,788
負債及び純資産の部合計	6,319,099,107	6,170,395,157	148,703,950

5. 有価証券・特定金銭信託の時価情報

(単位：円)

種類	当年度(平成29年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	200,000,000	201,280,714	1,280,714
(うち満期保有目的の債券)	(100,000,000)	(101,242,000)	(1,242,000)
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	101,200,000	89,200,000	△12,000,000
(うち満期保有目的の金銭信託)	(0)	(0)	(0)
合計	301,200,000	290,480,714	△10,719,286
(うち満期保有目的の債券・金銭信託)	(100,000,000)	(101,242,000)	(1,242,000)
時価のない有価証券等	—		
有価証券および特定金銭信託合計	301,200,000		

6. 主な施設設備の整備状況

会計区分	内容	金額
建物	6号館5F改修工事、7号館3F改修工事 他	11,059 千円
建物仮勘定	図書館棟着工費用	200,000 千円
教育研究用機器備品	図書館用ノートパソコン 他 【93点】	6,130 千円
図書	研究用、図書館用、製本雑誌 【1,181冊】	2,550 千円

7. 主な事業計画の履行状況

事業計画内容	予算措置(千円)	達成度状況
建学の精神具現化への諸活動	1,000	○
基本金組入れ（校地取得計画）※1	20,000	◎
寄付者顕彰記念碑建立	500	◎
満期償還に係る新規運用（有価証券）	100,000	◎
学内公募による教育改革取り組みへの支援	1,000	◎
教育研究活動の活性化	2,000	○
図書館棟新築計画の実施	200,000	◎
包括的キャンパス整備（施設改修、機器備品更新）	10,000	◎
継続的な学修支援環境の拡充（リメーチャル教育等）	1,000	○
被災地支援に係る諸活動の継続	1,000	◎
震災義援金の拠出	1,000	◎
青少年育成、国際保健医療協力に係る寄付金支出	1,400	◎
FRANCESCO PROGRAMなどへの国際交流振興基金の活用	2,000	◎
大学改革推進事業（IR活動、大学アドミニストレーター養成他）	2,000	◎
大学院生教育研究助成金	2,000	△
志願者増と安定的定員充足に向けた対策	1,000	○

達成度状況 … 予算執行(95%以上) ／ ◎

予算概ね執行(80%以上) ／ ○

執行不足 (80%未満) ／ △

※1：新たな校地取得計画に向けた資金積み立て（追加積み立て）

8. 大科目的経過年度比較表 一平成24年度～平成28年度一

資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
学生納付金収入	774,870	801,217	802,108	815,499	798,911
手数料収入	17,507	15,422	13,013	12,923	11,900
寄付金収入	15,020	30,800	30,928	31,219	30,200
補助金収入	123,238	235,902	124,190	97,706	113,768
資産運用収入	4,721	4,042	5,189	6,094	6,437
資産売却収入	0	0	0	0	0
事業収入	9,052	8,136	17,961	26,004	30,366
雑収入	20,363	17,615	36,046	47,467	35,336
前受金収入	146,905	142,912	140,529	140,265	136,636
その他の収入	17,436	185,261	137,699	128,010	245,393
資金収入調整勘定	△151,488	△271,413	△178,004	△184,381	△171,897
前年度繰越支払資金	1,267,930	1,445,439	1,322,466	1,590,019	1,588,271
収入の部合計	2,245,555	2,615,333	2,452,125	2,710,825	3,025,322

支出の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人件費支出	517,119	526,560	569,708	558,915	529,788
教育研究経費支出	159,188	160,684	175,348	264,065	179,028
管理経費支出	70,062	70,065	73,219	73,787	68,564
借入金等利息支出	391	0	0	0	0
借入金等返済支出	11,640	0	0	0	0
施設関係支出	4,726	397,930	8,667	92,981	211,059
設備関係支出	23,773	28,398	9,271	7,711	8,679
資産運用支出	0	108,600	29,490	124,800	122,100
その他の支出	42,154	28,936	28,307	31,904	31,609
予備費	—	—	—	—	—
資金支出調整勘定	△28,936	△28,307	△31,904	△31,609	△29,203
次年度繰越支払資金	1,445,439	1,322,466	1,590,019	1,588,271	1,903,697
支出の部合計	2,245,555	2,615,333	2,452,125	2,710,825	3,025,322

消費収支計算書（事業活動収支計算書）

(単位：千円)

収入の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
学生納付金	774, 870	801, 217	802, 108	815, 499	798, 911
手数料	17, 507	15, 422	13, 013	12, 923	11, 900
寄付金	17, 744	32, 770	32, 887	32, 515	30, 200
補助金	123, 238	235, 902	124, 190	97, 706	113, 768
資産運用収入	4, 721	4, 042	5, 189	6, 094	
事業収入	9, 052	8, 136	17, 961	26, 004	30, 366
雑収入	24, 097	22, 082	40, 012	51, 460	40, 000
帰属収入合計	971, 230	1, 119, 571	1, 035, 360	1, 042, 202	1, 032, 546
基本金組入額合計	△20, 308	△274, 382	△48, 264	△103, 200	△42, 217
消費収入の部合計	950, 922	845, 189	987, 096	939, 002	990, 329

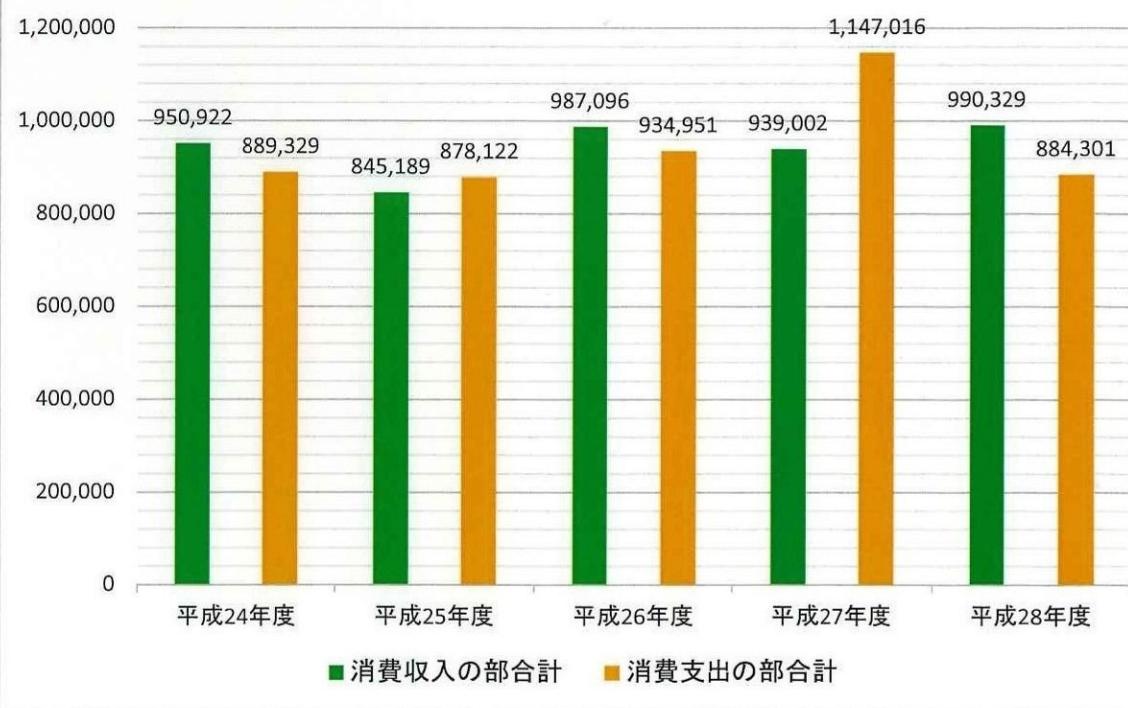
支出の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人件費	533, 621	529, 018	565, 221	571, 182	535, 891
教育研究経費	264, 023	260, 102	276, 982	352, 357	262, 073
管理経費	90, 030	89, 002	92, 578	90, 604	85, 573
借入金等利息	391	0	0	0	0
資産処分差額	1, 264	0	170	132, 875	763
予備費	—	—	—	—	—
消費支出の部合計	889, 329	878, 122	934, 951	1, 147, 017	884, 301
当年度消費支出超過額	61, 593	△32, 933	52, 145	△208, 015	106, 028
前年度繰越消費収支超過額	△564, 488	△502, 895	△535, 828	△483, 682	△331, 339
基本金取崩額	—	—	—	360, 359	0
翌度繰越消費収支超過額	△502, 895	△535, 828	△483, 682	△331, 339	△225, 310

【※経年比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作成】

帰属収入と消費支出の推移(過去5ヶ年度)



消費収入と消費支出の推移(過去5ヶ年度)



※単位：千円

※帰属收支差額（帰属収入－消費支出）は純資産の増加を表す

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
固定資産	4,456,288	4,729,299	4,652,889	4,350,887	4,393,936
流動資産	1,468,652	1,438,950	1,613,063	1,819,508	1,925,163
資産の部合計	5,924,940	6,168,249	6,265,951	6,170,395	6,319,099

負債の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
固定負債	172,513	174,971	170,484	182,751	188,853
流動負債	183,865	183,268	185,048	182,040	176,395
負債の部合計	356,378	358,238	355,532	364,791	365,249

資産の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
第1号基本金	5,153,146	5,577,528	5,601,102	5,310,743	5,525,961
第2号基本金	855,310	705,310	730,000	660,000	480,000
第3号基本金	0	0	0	101,200	101,200
第4号基本金	63,000	63,000	63,000	65,000	72,000
基本金の部合計	6,071,456	6,345,838	6,394,102	6,136,943	6,179,161

消費収支差額の部	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
翌度繰越消費収支超過額	△502,895	△535,828	△483,682	△331,339	△225,310
消費収支差額の部合計	△502,895	△535,828	△483,682	△331,339	△225,310
負債の部合計、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	5,924,940	6,168,249	6,265,951	6,170,395	6,319,099

【※経年比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作成】

9. 主な財務比率の経過年度比較表

比 率	算式 (×100)	平成24年度 (決 算)	平成25年度 (決 算)	平成26年度 (決 算)	平成27年度 (決 算)	平成 28 年度 (決 算)
人件費比率 ★	人件費 _____ 帰属収入	54.9%	47.3%	54.6%	54.8%	51.9%
教育研究 経費比率 ☆	教育研究経費 _____ 帰属収入	27.2%	23.2%	26.8%	33.8%	25.4%
管理経費 比率 ★	管理経費 _____ 帰属収入	9.3%	7.9%	8.9%	8.7%	8.3%
消費支出 比率 ★	消費支出 _____ 帰属収入	91.6%	78.4%	90.3%	110.1%	85.6%
消費収支 比率 ★	消費支出 _____ 消費収入	93.5%	103.9%	94.7%	122.2%	89.3%
学生納付金 比率 —	学生納付金 _____ 帰属収入	79.8%	71.6%	77.5%	78.2%	77.4%
寄付金比率 ☆	寄付金 _____ 帰属収入	1.8%	2.9%	3.2%	3.1%	2.9%
補助金比率 ☆	補助金 _____ 帰属収入	12.7%	21.1%	12.0%	9.4%	11.0%
基本金組入 比率 ☆	基本金組入額 _____ 帰属収入	2.1%	24.5%	4.7%	9.9%	4.1%

☆：高い

★：低い値が良い

—：どちらともいえない

【※経年比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作成】

10. 平成28年度決算総評

本年度における事業活動収入計（従前の帰属収入）は、1,032,546,451円となりました。収入の内訳としては、授業料、入学金等の学生納付金収入が798,911,500円と約8割を占め、ついで補助金収入が113,768,000円と約1割となっております。基本金組入額合計 42,217,302円を差し引いた、990,329,149円が従前の消費収入の数字となります。

支出につきましては、人件費が535,891,021円、教育研究経費 262,072,963円及び管理経費 85,573,333円などを主なものとして、事業活動支出計（従前の消費支出）として、884,300,663円となっております。いずれも予算を下回り、結果として、基本金組入前当年度収支差額（従前の帰属収支差額）が148,245,788円となり、平成28年度単年度としては良好な収支状態となりました。

図書館棟の新築工事も着工し、次年度の竣工に合わせて相応の設備投資も実施することになりますが、このような学修環境の充実に資するためにも、今後も堅実な財政計画とその執行管理により、安定的な収支状況を確保し、さらなる財政基盤の健全化に取り組んでまいります。

学校法人聖マリア学院

聖マリア学院大学 看護学部／専攻科助産学専攻
聖マリア学院大学大学院 看護学研究科

〒830-8558

福岡県久留米市津福本町422番地

TEL 0942-35-7271（代表）

FAX 0942-34-9125

<http://www.st-mary.ac.jp/>